

令和6年度

事業報告書

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

社会福祉法人 明星会  
竹の子学園  
竹の子学園 短期入所  
竹の子学園 日中一時支援  
竹の子ケアセンター  
パン工房ハッピー  
竹の子ホーム  
相談支援センター エール  
放課後等デイサービス ぽっぷ  
ハッピー・ONE・STEP  
レタッチ南足柄

社会福祉法人 明星会

理事長 安藤 進

## 1. 法人運営の概要

令和6年度の活動について、前年度に引き続き『地域福祉に根差した、永続的運営』を実現するため、法人組織改革及び地域福祉の推進に取り組んだ。

法人及び各事業所等の執行状況確認を経営検討会、運営会議・事業所連絡会議等にて定期的に行い、ガバナンスの強化に努めた。また、職員の働き方の多様化、人材不足に対応するための制度作りや、ICTを活用した業務の効率化などを推進した。

地域福祉への取組みとして、南足柄市から受託した「就労準備支援事業」が始まり、法人内職員への周知や運営を軌道に乗せるため尽力した。

## 2. 令和6年度事業計画への取組状況

### (1) 法人組織改善・組織改革

職員が明星会に就職したい方を紹介する「職員推薦紹介制度」を4月より開始し、1名の採用につながった。また限定職員制度について、制度利用職員を中心に面談を行い、限定職員就業規則をより子育て世代の職員が利用しやすい内容に改定した。

障害福祉サービス事業所等 ICT 導入モデル事業補助金を活用し、竹の子ホームのグループホーム9か所すべてに、インターネット環境及びタブレット端末器を導入し、業務の効率化を図った。

### (2) キャリアパス制度の充実

キャリアパス制度の見直しや階層別研修会を実施した。人事考課制度について、評価方法の検討等を行った。人材育成方針について検討した。

### (3) 地域福祉の推進

委託自治体と連携を取りながら運営を行った。法人職員が前職の特技を生かし居場所づくり事業の講師として参加する等、法人内の資源を活用し、また地域貢献に対する法人の活動意義を周知する取り組みを行った。小田原保健福祉事務所足柄上センターより、学習支援事業・居場所づくり事業に加え、「体験促進事業」を受託した。南足柄市就労準備支援事業（レタッチ南足柄）が始動し、法制度の理解を進め、利用者の背景に合わせ自発的に参加できる体制作りを行った。

### (4) 大規模修繕にむけた取組み

竹の子学園空調設備改修工事を4月から6月にかけて実施。その後保守業者の選定を行った。

毎月開催している経営検討会を中心に、高額な物品購入・修繕等について優先順位を検討し、予算案に反映させた。

### 3. 評議員の状況

定員 7名 現員 7名

	氏名	職業・経歴
1	北邨 賢雄	学校法人北邨学園 理事長
2	石塚 達義	社会福祉法人石塚愛育園 理事長
3	小澤 治枝	元小田原市民生委員
4	石田 久良	前南足柄市議会議員
5	河辺 邦夫	社会福祉法人永耕会 常務理事
6	石川 實	元横浜市障害施設課職員
7	瀬戸 浩	元小田原市障がい福祉課副課長

### 4. 理事の状況

定員 6名 現員 6名

理事長 安藤 進 平成17年2月10日初就任

	氏名	職業・経歴
1	安藤 進	社会福祉法人明星会 理事長
2	勝又 完二	税理士
3	佐々木幸時	自営業
4	晝場 浩司	社会福祉法人明星会 総合施設長
5	前澤 英治	元南足柄市福祉健康部長
6	坂井 正志	明星会非常勤職員

### 5. 監事の状況

定員 2名 現員 2名

	氏名	職業・経歴
1	和田 信男	元竹の子学園施設長
2	小澤 悟	元南足柄市会計管理者

### 6. 評議員会の開催状況

定時評議員会 令和6年6月14日

出席評議員 7名 出席監事 2名 出席理事 2名

報告事項等 令和5年度事業報告等

議案第1号 令和5年度 計算書類及び財産目録の承認、  
資産総額の変更登記及び監事監査報告について

議案第2号 役員を選任について

臨時評議員会 令和6年12月18日

出席評議員7名 出席監事2名 出席理事2名

報告事項等 8月1日神奈川県指導監査結果報告及び改善報告  
10月8日神奈川県指導監査結果報告及び改善報告  
経営状況について

決議事項 なし

7. 評議員・選任解任委員会の開催状況

開催なし

8. 理事会の開催状況

第1回 令和6年5月30日 出席理事5名 出席監事2名

報告事項等 監事監査報告  
令和5年度 資産の総額の変更登記について  
令和5年度 社会福祉充実残額の算定結果について  
法人経営状況について

議案第1号 令和5年度 事業報告について

議案第2号 令和5年度 計算関係書類及び財産目録について

議案第3号 役員選任の提案について

議案第4号 定時評議員会開催について

議案第5号 諸規定の新設及び改定について

議案第6号 給食業者委託料について

第2回 令和6年10月16日 出席理事4名 出席監事2名

報告事項等 第1回職務執行状況報告（理事長）

議案第1号 令和6年度第1次補正予算案について

議案第2号 諸規定改定について

議案第3号 臨時評議員会開催について

第3回 令和6年12月11日 出席理事6名 出席監事2名

報告事項等 8月1日神奈川県指導監査結果報告及び改善報告  
10月8日神奈川県指導監査結果報告及び改善報告  
経営状況について

議案第1号 安藤進理事長に対する土地建物賃貸について

議案第2号 竹の子ケアセンター車両購入について

議案第3号 諸規定改定について

第4回 令和7年3月19日 出席理事5名 出席監事2名

報告事項等	職務執行状況報告（理事長）
議案第1号	令和6年度第2次補正予算案について
議案第2号	令和7年度事業計画案について
議案第3号	施設の長他重要な職員の解任選任及び令和7年度体制について
議案第4号	令和7年度予算案について
議案第5号	諸規定の改定について

## 9. 監事監査の実施状況

令和6年5月24日 実施監事 和田信男 小澤悟  
運営・事業・決算監査  
改善を指摘された事項 なし

## 10. その他の法人主催会議

- (1) 経営会議 年間12回開催
- (2) 運営会議 年間15回開催
- (3) 事業所連絡会議 年間12回開催  
(利用検討会議・リスクマネジメント会議・虐待防止委員会・安全対策委員会・感染対策委員会)
- (4) 法人全体職員会議 年間3回開催
- (5) 経営検討会 年間11回開催
- (6) 委員会等
  - ①研修委員会 年間6回開催
  - ②虐待防止委員会 年間6回開催
  - ③リスクマネジメント会議 年間5回開催
  - ④竹の子祭実行委員会 グループウェア電子会議室を中心に開催  
他、マニュアル検討会・BCP会議等開催

## 11. 職員研修

- (1) 職員全体研修会
  - 4月1日 総合施設長による研修会
  - 8月24日 リスクマネジメント及びハラスメント防止・個人情報保護の  
取扱いについて
  - 9月28日 権利擁護（虐待防止）について 研修及び訓練
  - 1月8日 感染症予防について研修及び訓練（BCP研修訓練を兼ねる）
- (2) 階層別研修
  - 新任職員研修 5月8日・8月7日・2月7日（同一内容）
  - 非常勤職員スキルアップ研修

- 7月7日・9月19日・10月15日・1月28日（同一内容）  
「障害特性を正しく理解し、適切な支援について考える」  
階層別研修1・2等級（合同） 10月24日・11月6日（同一内容）  
「支援技術の基本」  
階層別研修3等級 7月20日  
「福祉サービス制度の理解」  
階層別研修4・5等級（合同） 6月20日  
「リスクを通してのマネジメントについて」  
階層別研修6・7等級（合同） 12月17日  
「コンプライアンスとハラスメント」
- (3) 人事考課者研修 9月24日  
(4) 事業所内研修 各事業所または事業所合同で独自に研修・訓練等を実施  
(内容は各事業所事業報告に記載)

## 1 2. 神奈川県からの監査への対応

- (1) 8月1日 竹の子学園 指導監査

### 【文書指摘事項】

- ①身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会の結果を従業者へ周知していないので、改善してください。  
②施設長の変更届を速やかに県に提出してください。  
上記①②指摘事項について、速やかに改善した。

- (2) 10月8日 法人本部 指導監査

### 【文書指摘事項】なし

## 1 3. 地域における公益的な取組みの実施状況

- (1) 生活困窮世帯等の学習支援・居場所づくり事業

小田原保健福祉事務所足柄上センター 及び 南足柄市より受託  
ハッピー・ONE・STEPとして活動

- (2) 南足柄市就労準備支援事業受託

レタッチ南足柄として活動

- (3) 食糧支援

- ①ハッピー・ONE・STEP 及び相談支援センターエールにて随時実施  
(共同募金会より助成あり)

- ②パン工房ハッピー 一部の商品子ども食堂へ提供

- (4) 体験活動

- ①生活困窮世帯等の体験活動促進事業

小田原保健福祉事務所足柄上センターより受託 (ハッピー・ONE・STEP)

- ②パン工房ハッピー 地域住民対象パン作り体験

# 令和6年度 法人本部 事業報告

報告者 藤澤智子

## 1. 事業方針

法人が取り組む法人組織改革、特に職員の働き方の多様性への対応は、法人本部にとって労務管理の複雑化・増加につながるため、ICTの推進や情報共有を図り、法人本部職員の負担軽減に努めた。また、広報活動として法人ホームページの定期的な更新を行い、法人のPR活動を行った。

南足柄市就労準備支援事業（レタッチ南足柄）が始動し、会計管理や労務管理等、適正な運営に向けた体制作りを行った。

## 2. 重点取組事項

### (1) 勤怠・労務管理の充実

令和6年度よりパートタイマー等職員の時間単位での年休取得等が始まった。休暇申請書を中心に、ワークフローでの申請が定着してきた。労務管理の複雑化・量の増加に対応するため、令和7年度に向けICT導入モデル事業補助金を活用した勤怠管理システム等導入を検討し、複数のシステム会社と情報交換を行った。

### (2) 利用者出納簿管理方法の見直し

過去の不祥事の反省より、利用者様の小口現金出納帳は手書き入力を継続してきたが、小口現金の管理体制が定着したとして、竹の子学園ではケース記録ソフトと連動する出納管理ソフトの使用を順次進め、令和6年度にて手書き入力を終了するように取り組んだ。竹の子ホームについては、希望する職員は、エクセルファイルを使用した出納帳への記入を可能とする取組みを始めた。

### (3) 業務のマニュアル化の推進

スタッフ会議で定期的に進捗状況を確認し、複数の業務についてマニュアル化を行った。

## 3. 会議開催状況

本部スタッフ会議 年間 10回

広報打合せ 随時

## 4. 研修

9月 竹の子学園 意思決定支援フォローアップ研修参加

## 5. リスクマネジメント

(1) 事故報告 年間 1件 内訳 文書管理 1

(2) インシデント報告 年間 0件

6. 苦情

(1) 年間 0件

7. 安全対策

竹の子学園の取組みに参加

8. 資産管理

特になし

# 令和6年度 竹の子学園 事業報告

報告者 晝場浩司  
清田 聡

## 1. 事業方針

(1) 事業の内容 施設入所支援、生活介護、短期入所、日中一時支援

(2) 定員 施設入所支援 56名  
生活介護 60名  
短期入所 4名  
日中一時支援 4名

(3) 事業方針の振り返り

成年後見制度の活用については、積極的な促進・活用等は進められず、一部の利用者様に対してのみ、手続き等をサポートする程度であった。

感染症対策を講じたが、9月、12月～1月の2度、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したが重傷化はしなかった。

引き続き、「良質なサービス」とは何かを常に追求し続けていく。

## 2. 利用者状況

(1) 利用実績 54名（施設入所支援）  
55.1名（生活介護）

(2) 入退所 退所 女性利用者様1名 グループホームへ移行

## 3. 重点取組事項

(1) 意思決定支援の実践

個別支援計画書の書式変更をおこない、モニタリング等において意思決定支援に注視した取り組みをおこなうも、不十分なところがあった。次年度も継続して取り組む必要がある。

(2) 業務マニュアルの整備

寮会議、医療会議等において、随時、整備を行った。

(3) 事故防止（リスク）と防災の徹底

事故防止については、出来事報告書の作成、寮会議等での振り返りを行った。

防災に関しては、防災担当を中心に、訓練等を取り入れることができた。

## 4. 実施状況

(1) 利用者自治会「たけやぶ」

①役員会、総会 4月、7月、10月、1月、3月に開催。

②給食会議 役員会代表者が毎会議2名ずつ出席。

(2) KW ネット相談

7月21日(日)、1月26日(日)に及川相談員実施。

(3) レクリエーション (たけやぶ役員と共に企画)

①誕生会 月1回実施

②月レク 7月27日(土) 夏祭り

10月3日(木) スポーツレクリエーション

12月24日(火) クリスマス会

③休日の余暇活動

季節に沿った行事を実施(七夕、お月見、プール、節分等)

④クラブ活動 月1回実施

(4) 食事

①給食会議には、たけやぶ役員会代表者が参加した。

②年6回(4・7・9・12・1・3月) 寮夕食会を開催した。

③イベント給食(6・2月)を開催した。

(5) 医療

①健康診断 9月11日(水) JA神奈川県厚生連保健福祉センター巡回検診  
3月12日(水) //

②内科 大内病院 毎月第4金曜日

③精神科 曾我病院 毎月第2水曜日

④皮膚科 根岸皮膚科 毎月第2火曜日

⑤歯科 きたのくぼ歯科医院 毎週月曜日(定期検診含む)

⑥内科 雨宮内科医院 毎月第3水曜日(生活習慣病の定期通院)

⑦その他 利用者様の状況により、必要な通院等を実施。

(6) 地域生活支援拠点事業(小田原市)

令和6年度 利用実績なし

5. 会議開催状況

(1) 職員会議	毎月1回	計10回
(2) 寮会議	各寮毎月1回	計25回
(3) モニタリング会議	適時	計11回
(4) 非常勤会議	開催なし	
(5) 日中活動班会議	5月、7月、8月、9月、1月、3月	計6回
(6) レクリエーション会議	5月、6月、9月、11月、3月	計5回
(7) 医療会議	4月、7月、10月、1月、3月	計5回
(8) 給食会議	4月、7月、10月、1月、3月	計5回

6. 研修

(1) 事業所内研修

10月26日 感染症に関する研修(ビデオ視聴、汚物処理の実技)

- 11月30日 リスクマネジメントから強度行動障害の方への支援方法について
- 12月21日 権利擁護に関する研修（虐待防止含む）  
朝日新聞掲載 「利用者殺害事件～障害ある次男に父は限界だった～」
- 1月25日 てんかん発作などの対応について
- 2月22日 竹の子学園のBCPを知ろう
- (2) 神奈川県知的障害施設団体連合会 新任職員人権研修
- (3) 意思決定支援におけるフォローアップ研修 9月17日

## 7. リスクマネジメント

- (1) 事故報告 年間 50件  
内訳 けが7 服薬関係14 金銭管理2 転倒2 異食1 他害1  
物品破損3 製品・製造管理4 連絡ミス1 その他15
- (2) インシデント報告 年間 16件  
内訳 服薬関係1 金銭管理10 物品破損1 その他4

## 8. 苦情

- (1) 年間 0件

## 9. 安全対策

- (1) 防災
  - ①防災訓練 11月、3月に実施
  - ②土砂災害避難訓練 11月に実施
  - ③緊急連絡網訓練 5月に実施
  - ④新人職員消火訓練 6月に実施
  - ⑤消防器具設備点検 敷地内のフェンス等の設備点検 毎月実施  
防災倉庫点検、非常食点検  
非常食入れ替え  
足柄防災委託点検（自動火災報知機・消防設備）
- (2) 防犯
  - ①防犯訓練 11月に実施
- (3) BCP（事業継続計画）
  - ①防災及び感染症対策について、BCP会議を開催し、見直しを実施。
  - ②感染症対策について、検討、見直しを実施。

## 10. 資産管理

- (1) 空調設備改修工事
- (2) ガス式衣類乾燥機 1台
- (3) デスクトップPC 1台

令和6年度 竹の子学園短期入所利用実績

	利用件数(日)	利用人数(人)	特記
4月	30日	8人	生活介護(1人)22日
5月	31日	7人	生活介護(1人)23日
6月	30日	7人	生活介護(1人)22日
7月	31日	9人	生活介護(1人)23日
8月	31日	10人	生活介護(1人)23日
9月	30日	6人	生活介護(1人)22日
10月	31日	12人	生活介護(1人)23日
11月	30日	6人	生活介護(1人)22日
12月	31日	8人	生活介護(1人)23日
1月	31日	4人	生活介護(1人)23日
2月	28日	7人	生活介護(1人)20日
3月	31日	4人	生活介護(1人)23日
合計	365日	88人	生活介護(1人)269日

令和6年度 竹の子学園日中一時利用実績

	小田原市						開成町					
	～4h	～4～8h	8h～	食事	入浴	送迎	～4h	～4～8h	8h～	食事	入浴	送迎
4月	6	2		5					3	3		
5月		2						2	2	4		
6月	1	2		1				1	2	3		
7月	1	2		1				1	1	2		
8月	1	2		1				3		3		
9月		1						2		2		
10月		2						2	1	3		
11月	1	2						3		3		
12月	1	1		1				1		1		
1月		4		2				1		1		
2月	1	6		3				1	1	2		
3月		4		2				3		3		
合計	12	30		16				20	10	30		

# 令和6年度 竹の子ケアセンター 事業報告

報告者 佐藤光夫

## 1. 事業方針

- (1) 事業の内容 生活介護
- (2) 定員 40名
- (3) 事業方針の振り返り

支援を必要とする利用者様に対して、送迎・排泄・食事・生産活動・創作活動レクリエーション活動を提供し、生活等に関して適宜相談及び助言等、総合的な支援を行った。

## 2. 利用者状況

- (1) 利用実績 269日稼働 延べ利用 10,276 ケース（平均利用人数 38.2名）
- (2) 入退所 入所者 1名  
退所者なし

## 3. 重点取組事項

- (1) 働きやすい職場作り

非常勤職員への情報伝達等がうまくいかない場面があったが、随時面談等を実施し改善した。

- (2) 平日レクリエーションの充実

3回の計画を予定通りに実施できた。利用者様に事前アンケートをとって臨んだが、直前で不参加になった方がいた。アンケートの取り方も改善していきたい。

- (3) 事業所展開の見極め

令和6年度報酬改定に伴い、サービスの利用時間に応じた基礎単価設定になったため、1日6時間以上の活動を実施した。合わせて送迎時間の調整を行った。

## 4. 実施状況

- (1) 日帰りレクリエーション
- (2) 健康診断
- (3) クラブ活動
- (4) 土曜日レクリエーション（夏祭り・クリスマス会）
- (5) 家族懇談会

## 5. 会議開催状況

- (1) スタッフ会議 年 12回
- (2) モニタリング会議 年 3回

## 6. 研修

- 6月 福祉サービスの仕組みについて  
防災について
- 2月 感染症について

## 7. リスクマネジメント

- (1) 事故報告 年間15件  
内訳 送迎5 怪我1 転倒1 所在不明1 服薬1 製品製造3 金銭2 その他1
- (2) インシデント報告 年間15件  
内訳 送迎2 怪我1 転倒6 所在不明1 服薬2 製品製造1 その他2

## 8. 苦情

- (1) 年間 0件

## 9. 安全対策

- (1) 防災 年2回の防災避難訓練 緊急連絡メール訓練
- (2) 防犯 年1回の研修
- (3) BCP (事業継続計画) 作成済み 職員への周知実施

## 10. 資産管理

- (1) 車両整備 日産キャラバン (共同募金会助成)
- (2) 車両整備 日産セレナ (日本財団助成)
- (3) 業務用冷蔵庫 (ハッピーキッチン)

# 令和6年度 パン工房ハッピー 事業報告

報告者 晝場浩司

## 1. 事業方針

### (1) 事業の内容 就労継続支援 B 型事業

パン・焼き菓子等の製造販売による福祉的就労の機会の提供及び作業工賃の支給

### (2) 定員 20 名

### (3) 事業方針の振り返り

#### ①就労の機会の提供

就労支援事業収益 約 1,435 万円 (R5) ⇒ 約 1,724 万円 (R6) へ増額

利用者平均工賃 29,426 円 (R5) ⇒ 35,281 円へ増額

#### ②一般就労へ向けての支援

一般就労移行者 2 名

障害者支援センターと連携した支援 (次年度へ継続中) 1 名

## 2. 利用者状況

(1) 利用実績 269 日稼働 延べ利用 5,053 ケース (平均利用人数 18.8 名)

(2) 入退所 利用開始 2 名 (一般就労に移行後、退職し再利用 1 名含む)

利用終了 4 名 (内 2 名一般就労移行)

## 3. 重点取組事項

### (1) 業務の ICT 化

損益分岐分析・利用者工賃計算などソフトの開発および導入。

販売時の電子決済導入。

グループウェアの活用による非常勤職員を含めた情報共有の推進。

### (2) 管理者が常駐でない中での迅速な意思決定ができる方法の確立

一部においては伺い書の管理者事前決裁同意 (都度の決済を要しない) を導入。

職責等の関係において、管理者が不在では円滑な事業運営が難しく、検討を重ねた上、R7 年度に向け体制の見直しを行なっている。

### (3) コスパ・タイプも考慮した、持続可能な製パン作業の見直し

レシピ・食材の抜本的な見直しや冷凍機材等を使用した製造工程の工夫に着手。

業務分析と職員勤務を含めた人員配置の再構築を実施している。

職員の業務改善実感度も高い。

## 4. 実施状況

(1) 定期納品 10 か所 (新規 1 か所)、定期販売 21 か所 (新規 3 か所)

委託販売 5 か所

- (2) 不定期イベント販売・大口納品 18か所
- (3) パン作り教室開催 8回
- (4) こども食堂へのパン等の提供開始（食糧支援）

#### 5. 会議開催状況

- (1) スタッフ会議 13回（年度初め 及び月1回）
- (2) 工賃向上・製造検討会議 11回（基本月1回）
- (3) モニタリング会議 2回（9月・3月）

#### 6. 研修

- 5月 R6年度報酬改定について
- 6月 衛生管理について（管理栄養士講師）
- 10月 研修参加報告 就労支援について
- 2月 研修参加報告 食品衛生責任者研修 衛生管理・食中毒について

#### 7. リスクマネジメント

- (1) 事故報告 年間 7件  
内訳 けが1 金銭管理2 作業・製造管理1 文書管理2 その他1
- (2) インシデント報告 年間 1件  
内訳：その他1

#### 8. 苦情

- (1) 年間 0件

#### 9. 安全対策

- (1) 防災  
年2回の避難訓練の実施（消防署届け出による）  
デスクネッツによる職員安否確認一斉メールのテスト実施
- (2) 防犯  
担当交番による巡回・意見交換
- (3) BCP（事業継続計画）  
法人BCP会議での検討  
災害時、事業所位置から対策本部を竹の子学園におくことは実態に合わないとのことで、次年度より対策本部を足柄事業所におくことを確認。  
スタッフ会議にて職員へのBCPの周知。

#### 10. 資産管理

- (1) デスクトップPC 1台

# 令和6年度 竹の子ホーム 事業報告

報告者 佐藤光夫

## 1. 事業方針

- (1) 事業の内容 共同生活援助
- (2) 定員 50名(9ホーム)
- (3) 事業方針の振り返り

利用者の意思や人格を尊重し、豊かな生活が送れるように支援した。

地域で開催される美化活動や防災訓練等に積極的に参加し、地域住民との交流や繋がりを深めるよう努めた。当事者活動への参加を進め、自己実現を目指した。

## 2. 利用者状況

- (1) 利用実績 48名
- (2) 入退所 入居者 0名  
退去者 3名(独り暮らし・他法人移行・逝去)

## 3. 重点取組事項

- (1) 安定した人材確保と運営

年度途中でのホームスタッフの退職が数名あり、職員への業務負担がみられた。

- (2) 体制整備と業務標準化

令和7年度利用者負担金金額改定へ向けて、適正化に向けた検討を重ね、利用者様・ご家族等に向けた説明会を2月に開催した。

宿直等の届出について、小田原労働基準監督署と勤務時間・業務マニュアル等を確認し適正に受理された。

業務マニュアルの見直しを行ない、働きやすい環境を整えた。

令和6年度障害福祉サービス事業所等ICT導入モデル事業補助金事業を活用し、9か所のグループホームにインターネット環境とタブレット端末を整備し、支援記録の入力を可能にした。

- (3) 権利擁護と意思決定支援の意識付けの強化

ホームスタッフ・生活支援員への説明を行い、意識づけを行った。

## 4. 実施状況

- (1) レクリエーション

- ①カラオケ 2回 利用者15名参加
- ②ボーリング 2回 利用者11名参加
- ③映画鑑賞 2回 利用者8名参加

- (2) 医療 健康診断・予防接種・通院同行

- ①毎月 5医療機関

- ②隔月 2 医療機関
- ③その他に適宜通院同行実施

(3) 防災 自治会主催の防災訓練への参加

- ①自主防災訓練 12月・2月実施
- ②小田原市避難訓練 11月実施（南足柄市は雨天中止）

(4) 懇談会 令和7年2月8日・22日 家族懇談会を実施

5. 会議開催状況

スタッフ会議	月1回実施
支援会議	月1回実施
各ホーム個別支援検討会議	各ホーム隔月に実施

6. 研修

- 5月 障害特性について（シルコトカラー奈良県障害理解チャンネルより）
- 6月 ストレングスモデルについて
- 7月 障害者虐待防止セルフチェックで自分を振り返る
- 8月 コロナ対応について
- 10月 身体拘束について

7. リスクマネジメント

- (1) 事故報告 年間53件  
内訳 金銭管理46 服薬関係5 所在不明2
- (2) インシデント報告 年間 0件

8. 苦情

- (1) 年間 0件

9. 安全対策

- (1) 防災 年2回、避難訓練（消防へ計画提出）
- (2) 防犯
- (3) BCP（事業継続計画）作成済み 職員へ周知

10. 資産管理

- (1) 冷蔵庫（メルシーボク）

## 1. 事業方針

### 【相談支援センターエール】

#### (1) 事業の内容

- ①指定特定相談支援・指定障害児相談支援
- ②指定一般相談支援（地域移行支援・地域定着支援）

#### (2) 事業方針の振り返り

福祉サービスにまつわる相談への対応や関係機関との連絡調整などを行い、利用者中心の視点で事業の発展と普及に取り組んだ。

### 【足柄上地区障害者等委託相談支援事業・相談支援センターりあん】

#### (1) 事業の内容

- ①総合的な相談支援事業（福祉サービスの利用援助、社会資源を活用するための支援、定期的な相談会、相談支援体制の強化に係る取り組みなど）
- ②地域生活支援拠点等事業
- ③その他、障害者等の自立した日常生活又は社会生活に資する事業
- ④足柄上地区障害者等相談支援事業連絡会議の開催 年3回

#### (2) 事業方針の振り返り

様々な障害・疾病に対応する窓口の拠点として中立公正な立場、利用者中心の視点で事業の発展と普及に取り組んだ。また、地域特性に考慮しつつ支援ネットワークの構築に努め、暮らしやすい地域社会を作ることに貢献した。

## 2. 利用者状況

### 【相談支援センターエール】

#### (1) 利用実績

契約者数 284名

法人内契約者 131名（成人 120名、児童 11名）

法人外契約者 153名（成人 140名、児童 13名）

#### (2) 契約解除 18名

解除理由 介護保険移行 4名、逝去 2名、サービス終了 9名、  
相談事業変更 1名、児童入所 1名、入院 1名

#### (3) 指定一般相談支援

地域移行支援 1名

## 3. 重点取組事項

(1) 事業の安定運営

計画相談については、報酬改定に伴い基本報酬に関連する取得可能な加算体制を取りつつ、実施を評価する加算を積極的にとり報酬につなげている。

委託事業については、事業継続が出来るよう業務内容の見直しと委託自治体と事業内容について相談の機会をもっている。

(2) 業務効率化による働きやすい職場づくり

事業所が2拠点のため、ICTを活用した連絡体制をとっている。進捗を確認しながら業務マニュアルの一部に着手している。

(3) 事業所内外の人材育成と当事者活動の推進

事業所内外の研修に参加の他、福祉専門学校実習生の対応、相談支援専門員養成研修のインターバル実習に対応したり、研修会講師を務めたりなど、地域の人材育成に貢献した。

4. 実施状況

【相談支援センターエール】

サービス等利用計画 215件、継続モニタリング 614件

【足柄上地区障害者等委託相談支援事業・相談支援センターりあん】

(1) 相談件数

	実人員	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次脳機能	その他
障害者	232	23	0	68	123	5	0	13
障害児	30	0	0	12	1	10	0	7
合計	262	23	0	80	124	15	0	20

(2) 支援方法

訪問 408件・来所 105件・電話等（FAX・メール含む） 2652件・同行 117件  
個別支援会議 59件・関係機関 873件・その他 432件

(3) 支援内容

住居、日常生活、家計・経済、就労、保育・療育・教育、健康・医療、家族・人間関係、社会参加・余暇活動、福祉サービス利用、障がい・病状理解、精神的不安、自立生活、地域生活移行、権利擁護等、子育て等

(4) 足柄上地区1市5町における定期的な相談会の実施

各市町出張相談件数 月1回（14：00～16：00）

南足柄市	中井町	大井町	松田町	山北町	開成町	合計
7件	5件	8件	11件	15件	16件	62件

(5) ピアサポーターフレンズ活動

定例会 年 3 回（うち 1 回 ピアサポーター養成講座）  
県立障害者支援施設コンサルテーション等業務委託訪問事業 3 回  
地域自立支援協議会への委員参画 3 回  
南足柄市障害者差別解消法研修 講師 1 回

(6) 各種会議等参加状況

就労支援関係 2 回、精神保健福祉関係 18 回、あしがら成年後見センター主催 権利擁護関係 4 回、市町関係 9 回、学校関係 1 回、地域活動支援センター関係 13 回、地域自立支援協議会関係 15 回、圏域自立支援協議会関係 4 回など

5. 会議開催状況

スタッフ会議 毎月実施

6. 研修

スタッフ会議内で研修報告兼ねた振り返り研修、事例検討を毎月実施

11 月 事例をとおして心理的虐待を考える

1 月 感染症研修振り返り

【足柄上地区障害者等委託相談支援事業・相談支援センターりあん】

権利擁護部会 障害者虐待防止研修など外部研修 7 回

7. リスクマネジメント

(1) 事故報告 年間 5 件

内訳 文書管理 4 その他 1

(2) インシデント報告 年間 0 件

8. 苦情

(1) 年間 0 件

9. 安全対策

(1) 防災

11 月 防災訓練

12 月 火災通報、消火訓練

(2) BCP（事業継続計画）

5・2 月 新採用職員向けに B C P 内容説明

8 月 B C P 机上訓練、要支援者名簿の更新など

9 月 デスクネット安否確認メール訓練

10. 資産管理

- (1) デスクトップPC 1台
- (2) ノートPC 2台

# 令和6年度 放課後等デイサービスぽっぷ 事業報告

報告者 晝場浩司

## 1. 事業方針

### (1) 事業の内容 放課後等デイサービス

学校通学中の児童に対して、放課後や夏休み等の長期休暇において療育を伴う居場所の提供

### (2) 定員 10名

### (3) 事業方針の振り返り

一人一人の特性や性格・学年を勘案し、創作活動や運動など選択できるように複数のもを提供し、自己決定出来るようにした。また、外部へのレクリエーションを増やし、心が豊かになるような支援を提供した。

## 2. 利用者状況

(1) 利用実績 269日稼働 延べ2499ケース(稼働率92.8%)

(2) 入退所 なし

利用日変更者 4名(内訳：週1回ケース増 5ケース減)

## 3. 重点取組事項

### (1) 業務の標準化

児童の年齢・季節に合わせた活動プログラムを提供し、業務マニュアル化を行う事で業務効率を図り、職員の超過勤務を減らすことが出来た。

### (2) 人材育成

年度途中で退職者が1名いたが、非常勤職員も含め少しずつ人材育成が出来ている。また、権利擁護に関しても過去の事例を再度検討しスキルアップに取り組んだ。

### (3) 関係機関との連携強化

外部機関との連携に関しては担当者会議を行う際に児童発達管理責任者だけではなく、児童支援員にも参加し他機関連携を図った。その為、職員間だけではなく外部機関との連携強化につながった。

## 4. 実施状況

### (1) 学校終了後・長期休暇中の余暇活動・学習支援

年齢に合わせた創作活動や学習支援を行った。また、公園での遊びだけではなく、体力づくりのための運動や竹の子ケアセンターでの作業体験を行なうことで大人との関わりの中でマナーを学ぶ機会を提供した。

### (2) 土曜日・祝日稼働

基本的に職員が考えたレクリエーションを実施したが、子ども会議を開催し自分た

ちがやりたいこと、行きたい場所などを考えてもらい、それを外出計画として提供した。

(3) 家族への支援

6月1日 家族懇談会を開催。個別面談等を随時行った。

(4) 学校等他機関との連携

小田原支援学校だけではなく、学校と家族との担当者会議に参加し、学校・家族との共通認識を確認した。

(5) プレイルームの床をフローリングに張替えた。

5. 会議開催状況

(1) スタッフ会議 12回 (毎月1回)

(2) モニタリング会議 12回 (毎月1回)

6. 研修

5月 アンガーマネジメント・メンタルヘルスについて

6月 虐待について(他事業所での事例を基に)

7月 虐待について(前月の振り返りとぽっぷでの事例について)

8月 災害時の竹の子ビルでの対応について

10月 感染症について

12月 強度行動について

3月 虐待防止・出来事報告書について

7. リスクマネジメント

(1) 事故報告 年間 7件

内訳 けが1 転倒1 他害2 所在不明1 送迎1 文書管理1

(2) インシデント報告 年間 4件

内訳 送迎2 連絡ミス1 その他1

8. 苦情

(1) 年間 0件

9. 安全対策

(1) 防災 年2回の防災避難訓練 年3回の緊急連絡メール訓練

(2) 防犯 年1回の研修

(3) BCP(事業継続計画) 作成済み 職員への周知実施

10. 資産管理

(1) ノートPC 1台

# 令和6年度 ハッピー・ONE・STEP

## (学習支援・居場所づくり) 事業報告

報告者 晝場浩司

### 1. 事業実施状況

小田原保健福祉事務所足柄上センター・南足柄市からの委託事業として、足柄上郡、南足柄市の生活保護受給者家庭の主に小学生・中学生の学習の定着、高校進学を目指す児童に学習支援、居場所作り、進路相談を実施した。

#### (1) 学習支援

足柄上郡	実施場所	松田町生涯学習センター	大会議室、小会議室
	実施日	金曜日	17:45~19:45
	登録者	生活保護世帯	22名
		生活困窮者世帯	8名
	実施回数	36回	
南足柄市	実施場所	南足柄市女性センター	第二会議室
	実施日	火曜日	17:45~19:45
	登録者	生活保護世帯	3名
		生活困窮者世帯	11名
	実施回数	36回	

※新型コロナウイルス感染症対策を取りながら実施した。(マスク着用、エアドッグ)

#### (2) 居場所づくり 足柄上郡、南足柄市

- 実施回数 各4回 (2拠点の合同実施あり)
- 実施内容
- ・法人パン工房ハッピーでパン作り
  - ・花束づくり(フラワーアレンジメント)
  - ・クリスマス会
  - ・終了の会

#### (3) 体験活動促進

- 10月5日(土) かまぼこ作り体験+生命の星地球博物館見学(小田原) 11名参加
- 12月8日(日) ゴールドサーカスマジック公演鑑賞(松田町) 5名参加
- 3月15日(土) ロマンسカーミュージアム見学(海老名市) 3名参加

#### (4) 進路相談 足柄上郡・南足柄市

家族、生徒、コーディネーターとの面談 随時開催

## 2. 会議実施状況

- (1) 運営連絡会議 足柄上センター 6月2日、3月8日  
南足柄市 5月22日、2月25日
- (2) 個別検討会議 足柄上郡 11月19日 南足柄市 11月17日

## 3. 研修 実施なし

## 4. 事業状況（成果）

- (1) 社会福祉法人が持つ社会資源、マンパワーを有効に活用。
- (2) 行政との連携（南足柄市子ども支援課）が特に生活困窮世帯の子どもの参加増につながった。
- (3) 進路状況 高校6名（支援学校2名）、大学（4年生）1名
- (4) 学習意欲、成績向上など学業の安定につなげることができた。
- (5) ボランティア間の連携により、学生ボラ複数名の新規登録があった。
- (6) 運営開始後、初めて学生ボランティアの企画で居場所づくりを実施した。

## 5. その他

平成24年度の事業開始から継続してきた学習支援のパンやおやつ提供、居場所づくり事業の昼食の提供について、今年度から困窮世帯の補食（食料）支援として自主的な活動に変更した。法人の社会貢献として活動するとともに、生活困窮世帯向けの食糧支援助成金（赤い羽根共同募金）の活用を進めた。

# 令和6年度 レタッチ南足柄（南足柄市就労準備支援） 事業報告

報告者 晝場浩司

## 1. 事業実施状況

南足柄市（福祉課）からの委託事業として、南足柄市在住の方の中で、長期に離職している方やひきこもり気味の生活をしている方など生活リズムが崩れている、社会とのかかわりに不安を抱えている方が就労に向けた準備を始めるために、「日常生活」「社会生活」「就労」支援の機会を提供した。

(1) 活動場所 「レタッチ南足柄」 南足柄市塚原 2668-13（1F）

(2) 実施時間等 9：00～15：30 月～金曜日  
個別支援 9：30～11：30、13：00～15：00  
\*または複数名によるグループ活動

(3) 実施方法 「日常生活支援」  
生活習慣の形成、規則的な生活（起床・食事・睡眠など）など  
「社会生活支援」  
あいさつ、共同作業、連絡などの習慣化、コミュニケーション形成（会話タイム）、見学ボラなど  
「就労支援」\*対象者なし  
職場見学、ボラ体験、アルバイト体験、求職支援など  
  
\*その他、活動前後ミーティング、振り返り  
\*必要に応じて、導入時の家庭訪問を実施

(4) 実施状況 令和5年12月から委託開始  
令和6年1月～3月 支援実施 利用相談 3世帯  
令和6年4月～3月 利用者 1名 他家庭訪問実施  
次年度希望者のお試し利用1名、見学2名

## 2. 会議

(1) 運営連絡会（支援調整会議）

出席者 福祉事務所職員（福祉課担当者、自立相談支援員、就労支援員）  
家計改善事業担当者（生活クラブ生協担当者）  
明星会職員（事業責任者・担当者）

開催 5月22日、11月19日 \*市福祉課福祉まると相談班が開催

## 3. 研修

生活困窮者自立支援法について、厚労省の事業の手引きや改正内容をスタッフで読み合わせし、共有した。

#### 4. その他

令和6年度は利用者数が増えず、現在の利用者も精神疾患があり、安定した利用にはつながっていない。令和7年度は複数名の利用希望があり、年度末に見学やお試し利用を始めている。障害のある方の利用が見込まれ、その特性に合わせた支援を進める。